

羽幌町の概要

■位置・気候

羽幌町は、北海道北西部留萌管内のほぼ中央に位置し、南は苫前町、北は初山別村及び遠別町、東は幌加内町に接しています。東は天塩山系ピッシリ山を背後として、西は日本海に面し、沖合い24 kmには暑寒別天売焼尻国定公園に指定されている天売島、焼尻島があります。主要都市までの距離は、道庁所在地の札幌市まで約200 km、道北圏中心都市の旭川市へは約130 km、振興局所在地である留萌市へ約50 kmとなっています。

気候は、年間を通じて風の強い日が多く、夏季は温暖で春から初夏にかけて乾燥し、晩夏から冬にかけては多雨、そして冬季は湿潤寒冷で積雪が多くなりますが、対馬暖流の影響で内陸部よりは比較的温暖になっています。



■町名の由来

羽幌町は、アイヌ語の「ハポロペツ」から転訛^{てんか}したものといわれ、「広大な川の流れる地」の意を含んでいるといわれています。

■羽幌町章

町章は、町名の「ハポロ」を図案化したもので、構成の円は町の円満を表し、中心の「ホ」の字は、黒ダイヤ石炭案山子になぞらう豊穡の羽幌米と鱈に託す豊漁を表し、まちの主要産業を象徴しています。



■羽幌町民憲章

わたしたちは、秀峰ピッシリをいただき、みのり多い山野と豊かな海をのぞみ、オロロン鳥の天売、オンコの焼尻の両島をかかえ 風雪にたえて、父祖が築いた開拓精神をうけつぎ美しい大自然の中に理想郷をもとめる羽幌町民です。

わたしたちは、この町を愛し誇りと責任を感じ、たがいのしあわせをねがい、よりよい町民となるために、この町民憲章を定めます。

- ・仕事を大切にし、働くよろこびに生きる、うるおいのある町にします。
- ・おたがいに思いやりのある、ゆたかな町にします。
- ・自然を愛し、平和で美しい町にします。
- ・文化を高め、スポーツに親しみ、明るい町にします。
- ・きまりを守り、力をあわせて、住みよい町にします。